



誰もが大好きな新台・旬台よりも、あまり見かけない台に興味を示す男、フドウd。そんな彼がシェフとなり、レア台を独自の観点から料理してしまう、そんな自己満企画。

## シェフの こだわりレシビ

熟成された素材を  
低玉貸しホールで仕入れてくるべし。  
評判にとらわれず  
己の舌を信じて料理と向き合うべし。  
収支に固執せず  
食材の旨味部分を伝えるべし。

フドウシェフの

# 気まぐれ ナナシー

～低玉貸し仕立て～

～本日のメインディッシュ～

## 回るコインの踊り食い ～手足がニョッキニョッキ～

かつての名機ナナシー。コインが淡々と回り、上段が同一図柄になればリーチ。下段にも同一図柄が揃えば大当たり。んで、コインからいきなり手足が生えるとチョイアツ。シュールですよ。これだからオールド(復刻)機はたまりませんね。ちなみに困ったもので、最近お金から手足が生えて、私の財布から逃げていくのです…。

～本日の食材～  
CRナナシービッグ  
豊丸産業



愛しているから  
仕方がないのだ!



「ありや?もしかして既にこのページで取り上げていたっけ?」そんなデジャヴ感さえ持つてしまうナナシービッグ。ほとんどホールでは見かけなくなった、まさしく絶滅危惧種です。少なくともかつて担当したページでは何度か紹介しました。その理由は愛しているから。それに他なりません。相次いでリリースされる新台の波。それに抗えず消え去っていく彼らを愛おしく見送る。それが私の愛の形なのかも知れません。その昔、一般電役・ナナシーはホール内にドツカリと君臨していました。そう表現してもいいくらい、1ボックス設置しているお店も少なくありませんでした。ピンポ〜大学生のフドウ青年は、ナナシーや羽根モノのファインプレーで大胆かつ繊細に攻めていました。甘い確率と自力引き戻しによる連チャン性(確変機能は搭載されていません)は、CR機全盛時分においては庶民の味方だったんです。確かファイヤー全回転リーチは大当たり確定ではないんだよね。全回転なのに…。



酸いも甘いも思いつきの詰まった台。そんな台の後継機で、昔と変わらぬシンプル演出で遊べる(クラシックモード選択可)となれば、愛さないわけがない。本頁上文でも触れましたが、無機質なコインから、いきなり手足が生えるんですよ。今風に言えば、キモカワイイシニールな部分も個人的には◎。コイン君ぬいぐるみがあるのなら、車に一個は置いておきたいくらいです。そんなこんなで実戦開始です。当然のようにクラシックモードを選択。ノーマルモードは予告演出が充実しています。が、リーチでより一層ドキドキしたいなら、断然クラシックモードがオススメ!下段図柄がテンパイしただけでスパーリーチ並みに心臓がバクバクするからです。そして歓喜の瞬間が!上段連中に手足が生えて伸縮リーチに発展。これは花の慶次で言うところのキセル予告並みにアツい!えっ!?キセルはよくハズれる?ならばそれ以上にアツい!!…見事、下段にドル図柄が揃って大当たり。円高のせいでも、幾分ドル図柄が頼りなさげに見えました。が、無事に揃ってくれました!

本日の結果  
投資.....100枚  
回収.....940枚  
収支.....+840枚

## 本日の料理の ★はいくつ?



文句なしの星5つ。ナナシーのリーチ中のサウンドは心臓に悪いと思います。「トテロレロレロ…」の音階がだんだん上がっていくのです。右下段の4周目に差し掛かってくると音も高いこと高いこと…。脈拍数も計ったらエライことになっているはず。

ここからはナナシーの真骨頂。早い回転数で大当たりを重ね、余裕の持ち玉遊技に。その後大当たり一回分強の出玉を打ち込み、そろそろヤメようかな〜って考えていたところで大当たり。リーチ自体でアツくなれるから、精神的疲労度も全く感じません。そしてこの大当たりで、ナナシーのもうひとつの醍醐味を味わうことに!大当たり中は右打ちなんです。右打ち用スタートチャッカーがあるため、大当たり中も大当たり抽選が行われるのです。コイン君がジタバタして、Gのランプが点灯。これぞ自力連チャン。ナナシーの楽しさを存分に引き出して実戦終了です。思い起こすと、過去のナナシーで実はそれほど勝った記憶がありません。ナナシー自身が面白いこと、そして20世紀の自分の仇を取ってやった。その感情の相乗効果で勝った喜びも倍増でした!